

令和元年度第4回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議要旨

開催日時	令和2年3月13日（金）午前9時30分～午前11時30分
場 所	さぬき市役所4階 第2委員会室
出席者	[委 員] 計8名 長山委員（座長）、鈴木委員（副座長）、尾崎委員、大塚委員、村岡委員、 圓尾委員、柏原委員、長谷委員
	[事務局] 計4名 総務部：向井部長、政策課：谷課長、大山課長補佐、多田副主幹
欠席者	なし
傍聴者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 座長挨拶 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について (2) その他 4 事務連絡 5 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・【資料1】第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） ・【資料2】第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略具体的な施策及び K P I 一覧（前回会議からの変更点） ・【資料3】市民意見提出手続実施結果報告書 ・【資料4】さぬき市人口ビジョン改訂案

開会	
	【(1) 第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について】
座長	KPIの表記方法について、平成30年度の現状値に続き、令和2年度からの目標値が示されていますが、これらの間には令和元年度の未確定値があると考えて良いのですか。
事務局	第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIは平成30年度の現状値を基に令和2年度以降の目標値を設定しています。 令和元年度分については、第1期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間に含まれてるので、実績値は第1期の進捗状況として管理していくことになり、第2期のKPIに数値は表れてきません。
委員	基本目標1、基本施策(1)、地域企業の競争力強化への支援のKPI「市が支援した企業の商品化・販路開拓成約件数(累計)」について、平成30年度の現状値に制度無し、と表記されていますが、令和元年度中に制度ができるのですか。 また、見直し前のKPIと比較して、目標値が大幅に減少している理由は何ですか。
事務局	新たな中小企業等の振興支援施策として、令和元年度中に要綱を制定し、令和2年度から実施する事業であり、KPIについては、見直し前のものは、経営相談等の相談件数も含めていましたが、見直し後のものは、商品化と販路開拓の成約件数に絞り込んだものになっています。
委員	KPIとは関係ありませんが、今、さぬき市で「さぬき市と言ったらコレ」と言えるものは何かありますか。メディアがその時々トレンドを発信し、それに消費者の流れが付随していきます。さぬき市も、既存のもので、ネーミングやブランディングを決めて、仕掛けづくりをしていくべきだと思います。
座長	それがふるさと納税の返礼品であれば、発信力があり、なお良いですね。メディアをうまく利用した情報発信は大切かもしれません。
委員	基本目標1、基本施策(3)、農林水産業における後継者育成の支援のKPI「認定農業者数」について、平成30年度の現状値が110人であるのは少なく感じます。また、年度毎の増加数が1人となっており、1年間に1人しか認定されないということは、認定要件が厳しいものなのではないでしょうか。
事務局	高齢化による農業者の減少や、新規就農者が伸び悩む本市においては、地域農業の核となる担い手の確保・育成は農業振興のうえで重要であることから、東讃

座 長	<p>農業改良普及センター、農業協同組合、農林水産課が連携し、農業経営に意欲ある農業者を認定農業者へ認定を行っています。</p> <p>認定農業者になると、国、県、市から有利な支援措置を受けることができるというメリットがある反面、5年間の継続期間や、一定額以上の年収を得ることなど、認定後の要件が高い面もあり、新規就農者は長続きしないのが実情のようで、認定農業者は単純に増加していくものではなく、離農者がいることも加味した目標値となっているようです。</p> <p>基本目標 2、基本施策(1)、住宅建築・購入・リフォーム支援施策の推進のK P Iについて、見直し前のK P Iでは「定住奨励金の新規交付数」としていましたが見直し後のK P Iでは「住宅新築軒数」に改訂しており、定住の指標としては非常に良い指標だと思います。この住宅新築軒数は、賃貸物件も含めた数値なのでしょうか。</p>
事務局	含まれていません。
委 員	住宅の新築については、単に市内のどこにでも新築が建てば良いというものではなく、10年後、20年後、30年後を見据えた都市計画の中で、交通網の発達や、市街地の開発等、土地利用の計画を立て、戦略的にまちづくりを進めていくべきだと思います。
委 員	高松市は中心地の商店街にマンションに高齢者を呼び込み、郊外に高齢者が所有している住宅をリフォームしたものに若者が住み、非常にうまく土地利用を進めていると思います。現在のままでは、さぬき市は中心地が空洞化してしまうのではないのでしょうか。
委 員	例えば、観光ゾーンを大串に設定するのであれば、高齢者が住みやすい住宅ゾーンを設定して、高齢者が現在住んでいる住宅を、大手住宅メーカーがリフォームして貸し出し、その賃料を高齢者ゾーンの住宅の家賃に充てることができる、など、余生をさぬき市で過ごしてみたいと思えるような仕組みを作るのも、まちづくりの一つの手法ではないのでしょうか。時流を見ながら民間を流入させていかないと、いつまでたってもK P I倒れになってしまうように感じます。
委 員	徳島のある町のように、高速ブロードバンド環境を整備するモデル地区をさぬき市に作れば、都市部の企業が市内に来てくれるかもしれませんね。
委 員	大手自動車メーカーが新しい町を起こす企画もあるようです。
座 長	無人自動車が運行する公共交通機関、ペーパーレスやキャッシュレスの時代の

	<p>到来など、現在はちょうど過渡期で、誰も 30 年後は予想しにくく、急激に変化するものは陳腐化する可能性が高いので K P I に入れない方が良いかもしれませんね。</p>
<p>委員</p>	<p>基本目標 2、基本施策(3)、さぬき市に何度も訪れたいくなる着地型旅行商品の開発及び発信の具体的な施策の内容について、『市観光協会と連携し、』とありますが、国から商工会に地元事業者や観光協会と連携して着地型旅行商品の開発に取り組むよう通知があったほか、全国商工会連合会からも同じような方針が出されています。何を観光資源ととらえ、着地型旅行商品とするか、商工会とも連携し、考案していくことで、地域経済の発展につなげていくと言う意味では、具体的施策の文面の中に『市観光協会及び商工会と連携し』と入れても良いのではないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>商工会では、東京で開催されている旅行会社向けの商談会に参加するなど、着地型旅行商品の造成などに向けて積極的に活動している現状に即したものにすする意味からも、文言を追加するようにします。</p>
<p>委員</p>	<p>基本目標 2、基本施策(3)、滞在型観光・交流の促進の K P I 「大串半島における観光地入込客数」について、令和 4 年度から目標値が増加していますが、その理由は何ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>観光振興や交流の拠点施設を整備することなどを見込んだ入込客数となっています。</p>
<p>委員</p>	<p>基本目標 3、基本施策(1)、婚活応援事業の支援の K P I 「婚活イベントのカップル成立数」について、平成 30 年度の現状値が 44 組と非常に多い実績値となっていますが、これは民間の事業等でのカップル成立数も含めた数値なのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この数値は、商工会が年に 1～2 回程度実施している婚活イベントでのカップル成立数であり、平成 26 年度からの累計数となっています。</p>
<p>委員</p>	<p>目標値が単年度実績ものと、累計値のものがありますが、何か理由があるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>年度毎の数値が一定ではない K P I については、累計値を各年度の目標値とすることで、より施策の成果を示すことができるものと担当課において判断したものであります。</p>

座 長	<p>K P I の目標値は年度成立件数で表記した方が分かりやすい良いと思います。</p> <p>また、婚活イベントでのカップル成立数など、その時々様々の影響を受けるなどの正当な理由の立たない、偶然の要素が理由となるものは、K P I とすることが好ましくないと云えます。</p>
委 員	<p>基本目標 3、基本施策(2)、ワーク・ライフ・バランスの推進の K P I 「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市内企業への啓発数」について、何をもって啓発事業所とするかがわかりにくいと思います。例えば、市が推進事業所と認めた事業所数を K P I とするなどにした方がわかりやすいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>担当課に確認したところ、これまで、事業所の認定を検討してきた経緯もありますが、国や県の制度は認定要件が高く実現が難しい現状であり、今回の K P I の設定に当たり、市内企業への啓発数とした協議過程がありました。</p>
委 員	<p>国や県の制度に沿った大層な認定でなくても、市独自の推進事業所として認めます、という、ささやかな認定であっても良いのではないのでしょうか。その認定があれば、会社案内等にも記載したりできますし、頑張っている企業として評価も得やすく、市内の新卒就職者の関心もつかめるのではないかと思います。</p>
委 員	<p>ワーク・ライフ・バランスの推進に限らず、農業についても同じことが言えると思います。低農薬栽培の認定や、エコファーマーの認定など、さぬき市独自の認定があれば、農業者の励みにもなりますし、消費者も安心して農産物を購入できるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>市独自の認定制度については、関係各課で協議し、検討していきたいと思いません。</p>
委 員	<p>冒頭の事務局の説明の中で、市議会に対し行われた「第 2 期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略説明会」の中で、K P I 全般にわたって 5%程度の増であることに対して、甘いとの指摘があったと、言われました。それを受け、各課が K P I を活動指標から成果指標に見直したことは、大きい決断であったと思います。</p> <p>ただ、第 2 期総合戦略の計画期間である 5 年間の間に、各課における人事異動が予測されるので、K P I を設定した過程や根拠等もしっかり引継ぎしていただきたいです。</p>
座 長	<p>K P I は、現実味のない野心的な数値であってもいけないと思います。</p> <p>5%増については、本来であればマイナスになることが想定される数値であるものを 5%まで引き上げようとしているとも捉えられます。</p>

<p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>第2期のKPIは人に寄っては総花的であると評価することもあるかもしれませんが、PDCAサイクルに沿った効果検証を行い、達成したものは少しずつでもブラッシュアップし、KPIそのものの入れ替えもしながら、事業の見直しの効果を高めていければ良いと思います。</p> <p>【資料3】市民意見提出手続実施結果報告書について、意見募集は市ホームページで行われたようですが、これからのさぬき市を担う若者や子育て世代など、一番意見が聞きたい人達に、この募集に関する情報が届いているのでしょうか。</p> <p>確かに、今回、提出された意見は専門的なものが多く、ワークショップ等を実施して活発な意見を取り入れるべきだったのではないかと感じます。</p> <p>今回の意見募集は既存の要綱に沿って進めてきましたが、今後、戦略等の策定時は、幅広い意見を集めることができるよう募集方法を検討したいと思います。</p> <p>【(2)その他】</p> <p>今後の予定としては、本日の会議の内容を踏まえ、決裁を経た後に第2期総合戦略をホームページにて公表したいと思います。</p>
<p>閉会</p>	